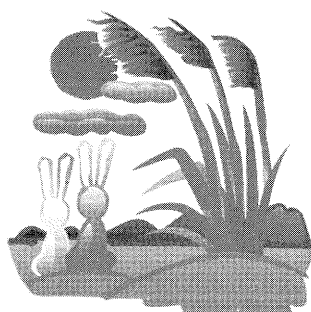


にしもと かずお
西元和夫

びさい
美哉幼稚園（山陰教区）園長



おへんじ

おはようございます。皆さんは本堂に上がるまえ、お部屋でお名前を呼ばれましたね。ちゃんとお返事ができましたか。はい、できましたね。でも、どうして毎朝毎朝、名前を呼ばれて返事をしなければいけないのでしょうか。

「はい」っていうのは「私はここにいますよ」ってことなのです。お返事があるとお名前を呼んだ先生は、「今日も元気に幼稚園に来てくれているな」ってわかります。遊んでいる時でも、お名前を呼ばれたらお返事をしてください。そうしないと、「いる」のか、「いない」のか、どこにいるのか、わかりません。阿弥陀さまはいつもみんなを見守ってください。お返事があるからね。それでは、阿弥陀さまはどこにいらっしゃるのでしょうか。いつも一緒にいてくださいます。それなら、阿弥陀さまが見えますか。

見えません。

（子ども）「見えんけん、おらん」

そうだね、見えんとおらんみたいだけど、

見えなくなっちゃんといてくださいますよ。幼稚園で遊んでいる時も、おうちで母さんやお父さんとごはんを食べている時も、夜おふとんの中でねむれなくてさみしい時も、いつも一緒にいてくださいます。

（子ども）「見えんかったらわからん」

そうだねえ、じゃあどうしたらわかるかなあ。お名前を呼んだらいいと思うよ。阿弥陀さまのお名前わかる？ そう、「なあみだぶつ」ですね。

「なあみだぶつ」ってお名前を呼んでください。ね。そしたら「私はここにいますよ」ってすぐに返事をしてください。ほんとにすぐです。「なあみだぶつ」って返事がかならず聞こえます。え？聞こえない？ いいえ、あんまり早くて、飛行機よりも早いので、気がつかないかもしれません。みんなが「なあみだぶつ」って呼ぶのと同時にお返事してください。だからです。呼んだ声の中に阿弥陀さまが来てくださっているからです。

ちょうど、大きく息を吸ってお話をはじめ

るみたい、目に見えない大きなお空から私の中に来て「なあみだぶつ」という風となって私の口からでてくださるのです。

阿弥陀さまは、皆さんが名前を呼んでくれるのをずっと待っています。呼ばれたら、一刻も早く駆けつけたいと思ってくださっているのです。それで、一番早いやりかたを考えたのでした。「なあみだぶつ」という言葉に変身したのです。「なあみだぶつ」になれば、「なあみだぶつ」って言った人のところにもう到着しているからです。

どうしてそんなに早く到着したいかって？ 皆さんのことが大好きだからです。

阿弥陀さまはいつも一緒にいてくださいます。でも皆さんは阿弥陀さまのことを忘れてることが多いかもしれませんね。それでもいいです。私たちが阿弥陀さまのことを忘れても、阿弥陀さまは私たちのことを忘れません。

だから、ふっと思い出した時には「なあみだぶつ」と言ってくださいね。

園児向け法話